

小学校第3学年 体育科学習指導案  
B 器械運動 ア マット運動

3年生担任 築地 歩美

日時 令和4年9月16日（金）1校時（9：00～9：45）  
場所 中学校屋内運動場  
学年 第3学年（男子5名 女子3名）計8名  
単元名 レッツ チャレンジ！ミュージック・マット♪  
～自分のステップアップがチームの力に～

単元の概要

○児童の実態

本学級の児童は、体を動かすことが好きで、積極的に外遊びをする児童が多い。休憩時間になると校庭でサッカーや鬼ごっこなどをし、楽しく遊んでいる。体育アンケートでは、「体育の授業が好き」と全員の児童が答えた。みんなが楽しい体育、一人一人が自分のめあてに向かって頑張れる体育を合言葉に、どの領域でも友達と関わり合いながら意欲的に取り組む姿勢が見られる。

一方で、体育アンケートでは、「得意な運動やスポーツがないので運動に自信がなく、目立たないようにしている」児童が1名、「得意な運動やスポーツがなく、がんばるぞという気持ちになれない」児童が1名いた。体育の授業は好きだが、運動に苦手意識を持っていることが分かる。

マット運動については、苦手意識のある児童が2名いるが、1学期の運動会での友達のマット運動の発表を見て、自分たちもやってみたいという思いは持っており、楽しみに感じている様子も見られる。

<運動への意識についての事前調査結果>

項目	肯定的回答	主な理由
体育の授業は好きですか。	8/8	・体を動かせるから。 ・運動すると気持ちいいから。 ・走るのが好きだから。
マット運動は好きですか。	6/8	・自分の体でいろんな動きができるのが楽しいから。 ・いろんなわざがあるから。 ・練習してきれいにできたときうれしいから。 ・きれいにできるようになったら何回やっても楽しいから。 ・体が柔らかいから。 ・体を曲げたり伸ばしたりすることが苦手だから。 ・体がかたいから骨折しそうで怖いから。

<運動の知識・技能についての事前調査結果>

項目	児童の記述
一つ一つのわざをよりかっこよくきめるポイント	・腕や足を伸ばすところはピンとしっかり伸ばすこと。 ・転がるときは、手や足を曲げて体全部を丸くすること。 ・「足をピシッ」とか「お尻を上げる」とか技のコツをつかむこと。 ・最後の動きで力を「グッ」と入れること。

## ○指導上の留意点

### 【セットメニュー】

- ・授業の導入で行うセットメニューは、感覚づくり運動、単元で必要となる運動、気持ちをほぐす運動を組み合わせ構成し、音楽に合わせて楽しく取り組めるようにする。

### 【スモールステップカードの活用】

- ・各技ができるようになるためのスモールステップの具体的な動きと、各技を行うためのポイントを書き込んでいくスモールステップカードを提示し、各技の行い方を視覚的に理解させるとともに、誰もが「これならできそう。」「やってみよう。」と、取り組み易いようにする。
- ・どこがどのようになっていけば良いのか等の、見る時の視点を明確にするためにもスモールステップカードを活用する。

### 【個が輝ける場やゴールの設定】

- ・毎時間、撮影した動画を活用し、技能のレベルではなく、個々のステップアップの内容でその時間のベストステップアップメンバーを選び、みんなで認め合える場を設定する。
- ・6月の運動会の3・4年生の演技の一部に、音楽に合わせて動きをチームでシンクロさせるマット運動を取り入れることで、児童に本単元のゴールがイメージしやすいようにした。
- ・単元のゴールを、個々の児童の得意な技、できる技、挑戦してきたステップの技をチームで組み合わせ、音楽に合わせてチームでマット運動の演技をする発表の場として設定し、一人一人が自己の能力に適した技や課題に取り組んだ成果をチームで発表する中で個が輝けるようにする。
- ・チームで音楽に合わせて個々の動きを揃え、美しい演技にするためには、なんとなくできたように見える技ではなく、各技の一つ一つのステップを確実にクリアしていくことがスムーズな動き、美しい動きになることを意識させ、各ステップの練習の必然性や目的意識を持たせ、主体的に取り組めるようにする。

### 【ICTの活用】

- ・動画を活用し、模範となる全身の動きを視覚的に捉えさせる。
- ・タブレットを用いて個々の動きを録画し、スモールステップカードと併せてみるができるようにする。

## ○単元の目標

- (1) マット運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、自己の能力に適した回転系（前転など）や巧技系（壁倒立など）の基本的な技をすることができるようにする。また、基本的な技に十分取り組んだ上で、それらの発展技に取り組んだり、技を繰り返したり組み合わせたりすることができるようにする。（知識及び技能）
- (2) 自己の能力に適した課題を見付け、技ができるようになるための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。（思考力、判断力、表現力等）
- (3) マット運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりすることができるようにする。（学びに向かう力、人間性等）

## ○単元の評価規準

(1) 知識・技能	(2) 思考・判断・表現	(3) 主体的に学習に取り組む態度
①マット運動の行い方を理解している。 ②自己の能力に適した回転系や巧技系の基本的な技をすることができる。 ③回転系や巧技系の発展技に取り組んだり、技を繰り返したり、組み合わせたりすることができる。	①自己の能力に適した課題を見付け、技ができるようになるための活動を工夫している。 ②考えたことを友達に伝えている。	①マット運動に進んで取り組もうとしている。 ②きまりを守り誰とでも仲よく運動をしようとしている。 ③友達の考えを認めようとしている。 ④場や器械・器具の安全に気を付ける。

○ 指導と評価の計画

指導と評価の計画(第3学年) 器械運動									
単元名	レッツ チャレンジ! ミュージック・マット ♪ ~自分のステップアップがチームの力に~								
学習の段階	基本的の技を習得する			発展技の行い方を知り, 取り組む		個々の課題に取り組む	個々の技を組み合わせてチームで発表する		
主な技等	感覚つくりの運動	前転・後転	かべ倒立・頭倒立	開脚後転	開脚前転	個別の技	技の組み合わせ	技の組み合わせ	
時数	1	2	3	4	5	6(本時)	7	8	
一時間の学習の流れ	0	1 セットメニュー							
	5	2 めあての確認							
	10	オリエンテーション 1 学習の目標と進め方を知る。 2 きまり, 場, 安全面について知る。 3 感覚つくりの運動に取り組む。 ・ゆりかご ・カエルの逆立ち ・川とび ・カエルの足うち ・ねこちゃん ・エビちゃん ・ブリッジ ・バランス技 等	3 前転, 後転の行い方を知り, 行う。	3 かべ倒立・頭倒立の行い方を知り, 行う。	3 開脚後転の行い方を知り, 行う。	3 開脚前転の行い方を知り, 行う。	3 開脚前転・開脚後転, 他の発展技や既習の技から, 自分が練習したい技の練習をする。	3 チームで話し合っ て発表のプログラム を決める。	3 前時に見つけた課題を解決するために チームで発表に向け 練習をする。
	15		4 気づいたことや, できるようになったことを友達と伝え合う。	4 チームで発表に向けて練習する。	4 発表会を行う。 同じ曲, 同じ時間の設定でチームごとに発表する。				
	20		5 共有したポイントを基に自分の課題を見つけ, 解決の方法を考え, 実践してみる。	5 友だちからのアドバイスから自分の課題を見つけ, 解決の方法を考え, 実践してみる。	5 チームで練習したことを発表し, 気づきや感想を伝え合う。自分やチームの課題を確認する。	5 感想を伝え合う。			
	25		4 セットメニューについて知る。						
30	まとめ・振り返り・次時の確認								
35									
40									
45									
評価計画	知・技		①(行動観察)		②(行動観察)	②(行動観察)		③行動観察	
	思・判・表			②(発言・体育ノート)			①(発言・体育ノート)		
	主体的	①(行動観察)	④(行動観察)	③(行動観察)		②(行動観察)			
								総括的な評価	

## 本時の学習（本時 6/8）

### ○本時の目標

自己の能力に合った技を選び、できたことや出来なかったことをスモールステップカードに記入しながら自分の能力に応じた課題を見つけ、技ができるようになるための活動を工夫できるようにする。

（思考力、判断力、表現力等）

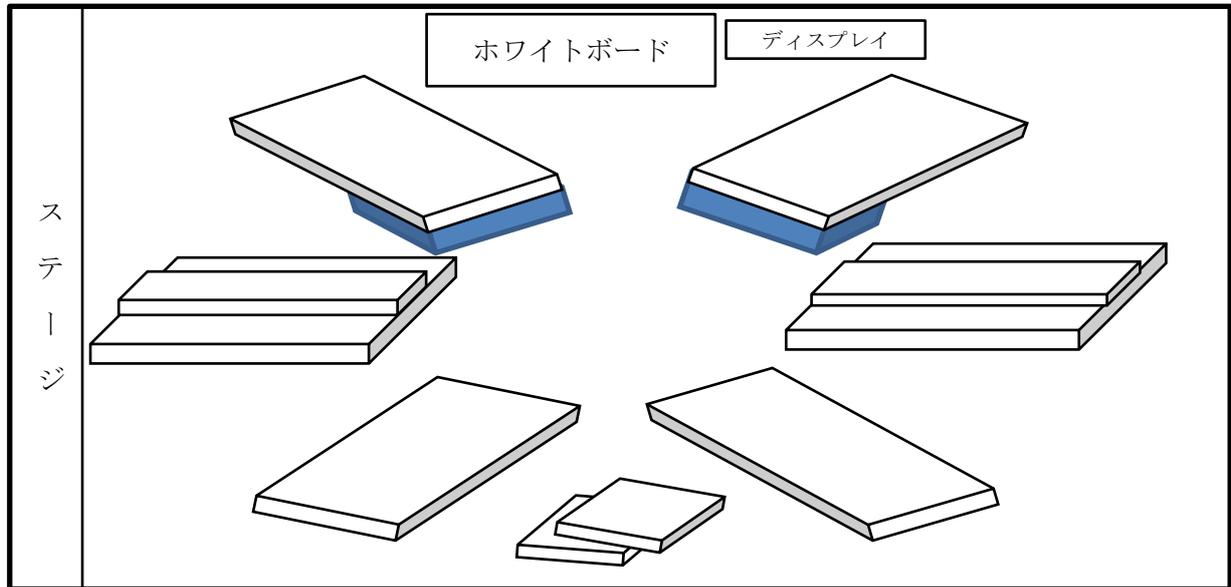
### ○本時の学習内容

	学習活動	○指導上の留意点 ◆「配慮を要する状況」と判断した児童への手立て	☆学習活動に即した評価規準 (方法)
導入	1 セットメニュー  2 個々のチャレンジ技を確認する。  3 本時のめあてを確認する。	○心と体をほぐしながら感覚づくり運動を行う。 ・だるま転がり，カエルの足打ち，カエルの逆立ち猫ちゃん，ブリッジ，バランス技，シンクロゆりかご，ゴロゴロリレー など  ○本時まで自分で決めてワークシートに記入させておく。	
<b>チームみんなで わざのステップアップを目指して練習の仕方をくふうしよう！</b>			
展開	4 チームのペアで個々の技の練習をする。  ペアで見合って気付きやアドバイスを伝え合いながら練習をする。  5 チームで集まって、個々のステップアップの状況を交流する。  6 交流したことを生かしながら、再度ペアで見合いながら練習する。  7 全体での交流 ・各チームのベストステップアップメンバーが技の発表をする。	○個々の課題解決に取り組み易いよう，児童の取り組むステップに応じて厚さ，角度，幅などを変え，放射状にマットを配置した場の設定をする。 (す) ○お互いが見合う視点を明確にするために，個々がめあてとする技とそのステップの段階をチームのメンバーで伝え合ってから練習を始めるようにさせる。 ○タブレットを固定撮影できるように設置し，必要な時には活用できるようにしておく。 (み) ◆伝え方が分からず，アドバイスや気づきが伝え合えていないペアには動画を活用して何に気付いたのかを伝えられるようにする。  ○どこまでできたか，どうしたらうまくできたのか，どこがまだ難しいのか，どこで困っているのかなどを交流し，頑張りを認め合ったり，アドバイスし合ったりしやすいように，実演させながら交流させる。 ○指導者が積極的に肯定的評価をし，伝え方のモデルを示すことで，児童同士が自然に肯定的評価を伝え合える雰囲気をつくる。 (さ)  ○個々のステップの段階を交流し，全体交流で発表する今日のベストステップアップメンバーをチーム内で決めさせる。 技能のレベルではなく，ステップアップの内容で決めるように確認しておく。 ○選んだ理由を，ステップアップの内容をもとに発表させる。 活動前の動きの動画と活動後の動きを比較しながら見ることで，ステップアップの内容が視覚的に確認できるようにする。 (し)	☆自己の能力に適した課題を見付け，技ができるようになるための活動を工夫している。 【思考・判断・表現】 （行動観察）
まとめ	8 本時の振り返りと次時の確認をする。	○本時の感想や本時で学んだことを発表させ，次時の学習内容を確認をすることで，発表プログラムに入りたい技のイメージが持てるようにする。	

## 場の設定方法や用具について

### ○主な準備物

マット、録画用タブレット（4台）、スモールステップカード、大型ディスプレイ、音響



※6つの場（同じ条件の場を3種類2か所ずつ）を用意し、自分の課題に応じて場を選ばせる。

## 板書計画

レッツ チャレンジ！ミュージック・マット♪ ～自分のステップアップがチームの力に～

④ チームみんなで わざのステップアップを目指して練習の仕方をくふうしよう！

**チーム A**

○ (個の本時の課題)



**チーム B**

○ (個の本時の課題)



今日の  
ベストステップアップメンバー

A

B



(理由)

(理由)